

東海テレビ制作の作品 2022年『日本民間放送連盟賞』

テレビCM部門で5年連続「最優秀」

番組部門 テレビドラマ番組では「優秀」を獲得!!

【最優秀作品】

「公共キャンペーン・スポット 生理を、ひめごとにしない。」

【優秀作品】

「おいハンサム!!」

【テレビCM部門 最優秀作品】「生理を、ひめごとにしない。」

東海テレビが制作したテレビCM「生理を、ひめごとにしない。」が、日本民間放送連盟賞中央審査会において、「最優秀」を受賞した。昨年も東海テレビが制作したテレビCM「ジェンダー不平等国で生きていく。」が最優秀を受賞しており、これで5年連続して最優秀を受賞することになった。

この作品は、中央審査会において全国から選出された作品の中から最優秀に選ばれた。作品は、YouTubeでも公開している。

<https://www.youtube.com/watch?v=7mCJ5XZT0J8&t>

■最優秀「生理を、ひめごとにしない。」の企画意図・・・

生理は、「なかったこと」にされてきました。それゆえ、悩みを相談できずにすれ違ったり、一人で抱え込んできました。一方で私たちは見せないように、また一方で見ないようにしてきたのではないのでしょうか。

でも、生理はタブーではありません。むしろ、いまを生きる人類にとって、一番身近な話題かもしれません。

誰かと分かち合うことや、深く理解することで、前向きに捉えることもできるかもしれません。

知ることは、優しくなることでもあります。大切な人のことを大切にするためにも、まずは、生理を知ることから始めてみる――。

こうした「当たり前のメッセージ」を社会に提案しようと思い制作しました。私たちに必要なのは、きっかけなのだと思います。



【プロデューサー桑山知之(東海テレビ)コメント】

「このような栄誉ある賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。依然としてタブー意識が根強い中で、覚悟を持って取材に応じてくれたことで実現した作品です。一人ひとりが変われば、社会が変わります。人類が生きていくうえで必要不可欠なものを、もっと大切に考えていくことができれば、きっと優しい世の中になると思います」

【スタッフ】

エグゼクティブプロデューサー: 伏原健之(東海テレビ)

プロデューサー: 桑山知之(東海テレビ)

アシスタントプロデューサー: 服部綾奈(プラモ)

ディレクター: 高山美月(東海テレビ)

＜東海テレビ制作 テレビCM最優秀受賞歴＞

2018年「竹島水族館／すいぞくかんのうた」 https://youtu.be/cIM1_mwrFaQ

2019年「見えない障害と生きる。」 <https://youtu.be/kahJcMqldHw>

2020年「この距離を忘れない。」 <https://youtu.be/KSUn-cpmMjM>

2021年「ジェンダー不平等国で生きていく。」 https://youtu.be/0_dkr47o0AM

【番組部門 テレビドラマ番組 優秀作品】「おいハンサム！！」

個性の違う三姉妹、唯一の共通点は...とにかく男を見る目が全くない！暗雲漂う娘たちの未来のため昭和の頑固親父が令和に立ち上がる！

ペットボトルから注いだだけのウーロン茶で何百円もカネを取る最近の風潮を嘆く伊藤源太郎(吉田鋼太郎)は、妻・千鶴(MEGUMI)と東京の長い商店街の外れの一軒家に住んでいた。

3人の娘はそれぞれ独立して立派に暮らしている、はずだったが...長女・由香(木南晴夏)は独身で不倫に走りがち。エリートっぽい男性と結婚したはず

の次女・里香(佐久間由衣)も離婚の危機。

三女・美香(武田玲奈)は独身で売れそうにない漫画家と同棲中。

男を見る目の全然ない愛する娘たちの幸せのため強いパパ・源太郎が立ち上がる！

源太郎は言う。

「食べて、恋して、人は生きている.....」

クスツと笑えて、お腹もすく、「恋」と「家族」と「ゴハン」をめぐる見たことのない最新コメディ。

おい
ハンサム!!

東海テレビ×日本映画放送 共同製作連続ドラマ



■出演者

吉田鋼太郎

木南晴夏

佐久間由衣

武田玲奈

MEGUMI